

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2371500642		
法人名	有限会社アメニティホーム		
事業所名	アメニティホーム本郷 3F		
所在地	愛知県名古屋市長区高柳町323-1		
自己評価作成日	平成29年9月15日	評価結果市町村受理日	平成30年3月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhiw.go.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=2371500642-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』		
所在地	愛知県名古屋市長区三本松町13番19号		
訪問調査日	平成29年10月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様それぞれのお気持ちを大切に個々の思いに添えられるように努めております。 ・利用者様のその時々々の身体・精神状態に合わせて出来ることを最大限に行うことで自立した生活を送れるように努めております。 ・対面式キッチンで調理している姿を見て生活感を感じていただき温かい出来立ての食事を提供しております。 ・敷地内に畑を設置して新鮮な野菜を食べて頂いております。 ・ご家族や友人の訪問や外出を積極的に支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>ホームでは、職員に大切にしてほしい言葉をリビング内に掲示しており、職員が日常的に利用者への対応を意識する働きかけが行われている。日常の食事のメニューについては、その日の状況に合わせてつくっており、その際には、利用者の好みや嗜好にも配慮してつくられており、利用者に毎日の食事を利用者に楽しんでほしいという取り組みが行われている。ホームには重度の方も生活しており、職員間で利用者への支援を検討しながら、一人ひとりに合わせた支援が行われている。家族からの要望等については、ホーム内に施設長とホーム管理者による複数での体制をつくっていることで、細かな要望等がホームの運営に反映できるような取り組みが行われている。また、法人代表者もホームに訪問しており、職員との面談を行う等、職員の把握と意見等を出してもらい取り組みが行われている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「私たちは利用者様の気持ちを大切にします」「私たちは利用者様の自立的生活援助を行います」を玄関、フロア内で皆が確認できる場所に掲示して意識付けをしています。	利用者の気持ちを汲みながら支援を行うことを目指した理念を掲げており、職員が日常的に意識する取り組みが行われている。また、職員に大切にしてほしい言葉を掲げており、理念の実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会しております、地域の行事(お祭り・盆踊り等)には利用者様の状態等から参加できておりませんが散歩や喫茶等に出かけた際には積極的に挨拶を行っております。子供会のイベントへの寄付は行っております。	地域の方との交流については、ホームからの可能な範囲での交流が行われており、行事への協力等の交流が行われている。また、近隣への外出を通じて挨拶を交わす等、日常的な交流に取り組んでいる。	地域の方との交流については、近隣の状況もあり、限られた範囲での交流となっている。今後に向けて、ホームからの継続的な働きかけにも期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通じて事業所としての取り組みを発信しておりますが自治会主催の行事などには利用者様の身体レベルの低下やスケジュールの都合で参加出来ない為、地域との交流は限られております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年に6回開催しております。利用者様、ご家族、民生委員、いきいき支援センター等の方々に参加していただけるようにお声をかけております。様々なテーマで会議を開催してご家族や地域の皆様へ施設としての取り組みをお伝えする場としております。	会議の際には、地域の方の参加が得られていることもあり、地域に関する情報交換の機会にもつながっている。また、会議の際には、様々なテーマでの取り組みが行われており、外部の方にもお願いしたい講習会の取り組みも行われている。	家族にも案内を行っているが、参加者が限られた方になっている現状がある。会議を通じて様々な取り組みが行われていることもあるため、継続的な参加への働きかけに期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	介護保険の切り替え時、区の窓口へ伺った際に情報交換等に努めております。運営推進介護では区の保健所の方を招いて「高齢者の食事について」の講義を行って頂きました。	区内の介護事業所が参加した連絡会の際にはホームからも参加しており、情報交換等の機会につなげている。また、地域包括支援センターとの情報交換や市の研修会等の際には職員が参加する取り組みも行われている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基本的に身体拘束は禁止しておりますがご本人の安全確保の為、どうしても必要な場合に限りご家族に必要な旨を伝えたと同意を頂いております。3ヶ月ごとに見直しを図り、そのつど同意書を頂いております。	現状、身体拘束が必要な方が生活していることで、職員間での検討を深めながら、必要な取り組みが行われている。ユニット入口については施錠を行っている。日常的な職員への注意喚起等の取り組みが行われている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内研修としてカンファレンス等で「虐待防止」について意見交換を行っております。利用者の日々の変化(精神、身体面)を注意深く観察して職員が適切な対応をしているかについて職員間で意見交換をして意識を高めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者様が必要とされる際には支援しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	施設見学～契約時に契約内容の説明を行っております。入居後もご家族の訪問時や電話で契約等に関する問い合わせには、その都度、説明に努めております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議(年6回)、行事(夏祭り等)などコミュニケーションを取れる機会を作っております。日頃のご家族の訪問時や毎月の手紙で利用者様の様子を積極的にお伝えする等でご家族とのコミュニケーションに努めております。	ホームの行事の際には、家族にも案内を行っており、交流の機会をつくっている。家族からの要望等については、施設長と管理者での対応が行われている。また、毎月のホーム便りの作成が行われており、利用者の様子を報告している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日の申し送りや定期カンファレンスを通じて日々の業務を通じて困っていること等を聞くようにしております。意見を出しやすいように日頃からコミュニケーションを取るように努めております。	職員会議の他にも、日常的に施設長がホームに勤務していることもあり、職員からの随時の意見の把握が行われている。法人代表者も訪問し、職員との面談を行っており、職員一人ひとりの把握が行われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	仕事に対する評価をし、ボーナスに反映しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	名古屋市介護職員等キャリアアップ研修に積極的に参加して、研修で学んだ事を活かして職場全体のサービス向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同業者との交流は少ないですが名古屋市介護職員等キャリアアップ研修に参加する等で交流拡大に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所時の情報を元にしてご本人の思いや要望等を会話や観察を通じて汲み取り、ご本人が安心して暮らせるように努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所前にご家族にお話を伺います。入所後は面会や電話でご本人の生活状態をお伝えした上でご家族に思いや要望等を伺っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	医療機関等も含めて身体面、精神面の両方から判断するよう努めております。他のサービス利用(歯科医等)においては必要に応じて同行や説明を行うようにしております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様それぞれの状態に合わせてご本人の思いや要望を会話や観察を通じて把握してご本人の気持ちを最優先できるように努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	運営推進会議(年6回)の開催、毎月のお手紙、面会、電話等で利用者様のご様子(変化の有無に限らず)をお伝えしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族だけでなくご友人の面会も同様に対応しております。ご家族と正月やお盆の時期に自宅へ戻る、ご家族と近所の喫茶に出かける、車椅子で一緒に散歩する等、ご家族や友人が訪問しやすい環境作りに努めております。	利用者により、入居前からの友人、知人がホームに訪問している方がおり、馴染みの関係継続につなげる取り組みが行われている。また、家族との外出の機会もつくられており、親族の法事に参加する際には、ホームでも更衣等の支援が行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様それぞれの個性を把握してトラブルが起きないように座席位置、余暇時間の過ごし方等に配慮するように努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	病気等で退所後はご家族様にご連絡をし、確認等をするように努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所時、ご本人やご家族から思いや希望を伺っております。入所後は会話や行動等からご本人の思いや希望をスタッフ全体で把握できるように努めております。	職員間で担当制も活用しながら利用者の把握が行われており、意向等の反映に取り組んでいる。また、毎月のユニット毎でのカンファレンスの取り組みが行われており、利用者に関する検討と定期的なアセスメントが行われている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時、ご家族やケアマネージャー等からそれまでの生活歴を伺ってご本人の思いや希望を把握するように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	カンファレンスや日々の申し送り等でモニタリングを行い、現状のADL状況等をスタッフ全体で把握するように努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日常・定期モニタリングで利用者様の現状を把握した上でご本人や家族等の思いや希望を出来る限り計画に反映するように努めております。	介護計画については、6か月での見直しが行われているが、利用者に変化があれば、随時の見直しが行われている。職員が介護計画の内容を把握する働きかけを行いながら、日常の記録やモニタリングに反映する取り組みが行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の状態や気づいたこと等を生活記録や申し送りノートに書きとめて最新の情報をスタッフ間で共有できるように努めております。カンファレンスや日々の申し送り等で意見交換を行い実践するように努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	必要に応じて歯科医や訪問マッサージ、訪問美容を行っております。入院時は利用者様の状態報告の為、病院へ付き添っております。喫茶や自宅への帰宅(日帰り)等の外出支援に取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	町内会に入会し民生委員や自治会長等とは繋がりを持っておりますが地域の行事(夏祭り、盆踊り等)への参加は出来ておりません。運営推進会議での接点が主となっているのが実情です。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回の定期訪問、異変時の訪問や電話での対応指示があります。状態によって直接、主治医からご家族への説明があります。	協力医による訪問診療が行われており、利用者の健康状態に合わせた対応も可能な体制がつけられている。職員による受診支援等、必要な対応が行われている。また、看護職員が勤務しており、利用者の健康チェック等の取り組みが行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	月4回の定期訪問前には利用者様の状態についての報告・連絡・相談を記録で行っています。日々においても体調不良時等は電話や直接、病院に出向き報告するように努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には必要に応じて付き添い日常生活について病院側へ説明しております。入院後はお見舞いに伺い、必要に応じて病院側と退院に向けての打ち合わせを家族を交えて行うように努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に説明しております。入所後、状態の変化によりご家族、主治医等を交えて対応を検討するように努めております。	ホームでの看取りを見据えた支援にも取り組んでおり、ホームでの看取り支援の経験もある。身体状態に合わせた家族との話し合いの機会がつけられており、協力医による説明等の対応も行われている。また、職員への研修等を通じた指導も行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	社内研修において勉強会を開催する、その都度、主治医や看護師から指示を貰う等の対応に努めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、移動可能な利用者様と職員にて避難訓練(消化器の使用あり)を行っております。地域の防火訓練への参加は利用者様の状態等から難しい為、出来ておりません。	年2回の避難訓練が行われており、通報装置の確認等の取り組みも行われている。ホーム内に水や食料等の確保が行われている。地域の方との協力関係に関する働きかけが行われているが、継続的なテーマでもある。	ホーム建物の構造的な限界もあるため、夜間を想定した対応にも期待したい。また、近隣の方との継続的な協力関係の構築に期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様やご家族の思いや気持ちに真摯に耳を傾け、相手が不快にならない言葉遣い(敬語、さん付け等)、排泄・更衣の際には周囲から見えない様にする等に努めております。	職員に大切にしてほしい言葉をリビング内に掲示しており、職員が日常的に利用者への対応を振り返る取り組みが行われている。また、利用者への呼びかけ方法等、接遇面に関する研修の機会がつけられている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で利用者様が自己決定できる部分(余暇時間の過ごし方、衣類の選択、座席位置、就寝時間等)については全体のバランスや職員の配置等を考慮した上で可能な限り実践できるように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その時々々の体調や気分等を確認の上、食事・排泄・入浴・レク活動・お手伝い等、何かを行う際には声かけをして無理強いをしない様に努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	室温、季節や体調等を確認の上、自分で選べる利用者様には自分で選んでもらっております。自分で選べない方はご家族の意見を伺う様に努めております。化粧品は好みの物を購入しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付け、配膳片付け、テーブル拭き等を無理のない範囲で行っています。落ちついて食事が摂れるように座席位置を考慮し利用者様のそれぞれのペースで食べていただけるように努めております。	その日の状況等に合わせてメニューを作成しており、利用者の好みや嗜好にも配慮している。重度の方も生活しているため、身体状態に合わせた食事形態の提供も行われている。また、食事の際には、職員も利用者と一緒に食事を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	記録に食事、水分量、食事内容を記入しております。嚥下状態、体調等を考慮の上、とろみ剤の使用、こまめな水分補給、栄養士を招いての勉強会(高齢者の食事について)の開催等に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	起床時、毎食後に利用者様それぞれの状態に合わせて行っております。異変に気づいた時は主治医や歯科医に報告を行い、必要に応じて歯科医によるケア(治療・義歯調整等)を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	利用者様それぞれの排泄傾向(時間帯)を職員全体で把握して無理強いせずにトイレ誘導をしています。排泄状況(失禁等)を把握した上でオムツ・パッドの必要性について職員全体で検討し、必要最小限の使用で済むように努めております。	利用者に合わせて排泄支援が行われており、トイレでの排泄が継続できるように職員間で情報交換等の取り組みが行われている。また、排泄に関する医療面での支援も行われており、利用者により、排泄状態が改善した事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便・生活記録で毎日の排便・水分摂取状況を職員全体で把握し、主治医には定期的に排便状況を報告して必要に応じて薬の処方がされております。ラジオ体操等の運動も毎日行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている。	利用者様のその時々状態も考慮しながらご本人の希望(浴槽に浸かる、湯温調節等)に沿うように努めております。更衣の際にはプライバシーに配慮しております。入浴を無理強いしないように努めております。	週2回の午後の時間に入浴が行われており、入浴を拒む方にも声かけを工夫しながら入浴を促す取り組みが行われている。また、重度の方に合わせた職員複数での介助も行われている他にも、季節により足湯の取り組みも行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様の睡眠状態、心身状態等を把握し、必要に応じて日中に休息を取る、寝具の調整、夜間の排泄介助、音や照明の調整等に努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	利用者様それぞれの最新の薬事情報を職員全体で確認できるようにしております。それぞれの服薬状況(飲みこみ、心身状態の変化等)を日々、観察して把握できるように努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者様それぞれの得手・不得意を考慮しながら無理強いはせず無理のない範囲で落ち着いたレク活動やお手伝い等に参加していただけるように努めております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者様の当日の体調を確認の上、散歩、外気浴を行っております。ご本人の希望やその時々気分や喫茶、買い物に出かけております。ご家族から外食やお墓参り等のお話があれば心身状態をお伝えするようしております。	その日の天候等にも合わせながら、近隣を散歩したり、建物1階にあるベンチで過ごす等の取り組みが行われている。季節に合わせた花見や公園等への外出の他にも、少人数で喫茶店に出かける等の取り組みが行われている。	利用者の外出に機会が限られた範囲となっている現状があるため、職員体制にも合わせながら、利用者の外出の機会を増えることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者間のトラブルに発展する可能性がある為、金銭の管理は行っておりませんがお金の心配をされる利用者様へは金銭管理状況(ご家族が管理)をお伝えするように努めております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者様の希望があれば必要に応じて対応しております、ご本人の希望がなくても普段の会話等から思いを汲み取り職員からご家族へお伝えすることもあります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロア全体を利用者様が移動しやすいようにテーブル等の配置を調整する、不必要な物は置かない、トイレの臭い軽減等に努めております。季節の行事(クリスマス等)の写真や作品をリビングに飾っております。	リビングが建物の2階と3階にあることで、採光に優れた環境であり、利用者が日中を明るい雰囲気でも過ごすことができる。壁には、季節に合わせた飾り付けや利用者の作品の掲示が行われており、快適な雰囲気づくりに取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合う方同士でゆっくり過ごせるように2～3人掛けのソファを設置しております。食事、余暇、お手伝い等の際には座席の位置をその時々状態に合わせて対応するように努めております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者様の心身状態を把握して混乱せず、安全面を確保しながらTV、ラジカセ、洋服ダンス、パソコン等を設置して落ち着いて過ごせる環境作りに努めております。家族との写真を飾っております。	利用者の意向や状況等にも合わせながら、居室に様々な持ち込みが行われており、馴染みの物の持ち込みも行われている。また、家族の写真や自身の作品を飾っている方もあり、一人ひとりに合わせた居室づくりに取り組んでいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレにはトイレ案内掲示をする、洗面所には名前を記入した口腔ケアセットを手の届く場所に置く、手すりや椅子を置くなどして安全に歩けるよう等の環境作りで自立した生活がおくれる支援に努めております。		